

1 3学期始業式の生徒発表。抱負、目標、ビジョンを描こう！

少し遅いですが、あけましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

1月10日、3学期がスタートしました。その中で各学年の生徒発表がありました。抱負の一部を紹介します。1年生代表の猪熊がろ君は「学級委員長として、下級生のお手本になれる学年にしていきたい。」、2年生代表の山口ゆうしん君は「家庭学習では、意味のある学習をしていきたい。」、3年生代表の中園すみれこさんは「3年生全員が、めざした道へ進めるように、笑顔で卒業できるように、クラスの雰囲気を高めて勉強をがんばっていきたい。」と発表してくれました。3人ともしっかり原稿を書き、覚え、「原稿なし発表」でステージ上から全校生徒に向けて自分の思いを伝えてくれました。3人とも大変立派でした。



新年の始めは、子どもも、そして大人も、抱負を、目標を、ビジョンを描き、気持ちを新たにしたいものです。ちなみに私の抱負、目標、ビジョンは、「元気な学校・成長できる学校をみんなで創っていきましょう。」で、4月から継続のビジョンです。

2 3学期始業式、校長講話

1月10日、3学期の始業式が行われました。校長講話では、3つの話をしました。1つ目は「元日、元旦、正月の違い」、2つ目は「学級の雰囲気（支持的、前向き、自治的）を創っていこう」、3つ目は「受検生へ

『夢の実現に向けて』でした。すべての生徒が、挑戦と元気で成長する年になりますように願っています。



3 地域も応援、受検生全員へ「勝米（十島奉納米）」頂きました。

1月6日、十島地区営農生産組合長の永尾様から、受検生全員へ「勝米（十島奉納米）」をいただきました。このお米は、昨年11月、日本遺産「勉学の神様 菅原道真公祭神『十島菅原神社』」にて奉納された新米だそうです。その奉納米を「勝ちに気持ちをつめて」という意味で「勝米」と命名し、本校の受検生全員へ2kgずついただきました。この経緯とお米の量の多さに驚きとともに、感謝で一杯になりました。

生徒たちには、1月10日の始業式で紹介し配付しました。「受検は、個人戦ではありますが、団体戦でもあります。地域の皆さんの応援も受け、夢の実現に向けて、しっかり頑張ってください。」という話をしました。この勝米を食べて、さらに元気に受検に立ち向かってくれることでしょうか。本当にありがとうございました。



明日、「後期の学校評価（生徒・教職員）の結果、並びに保護者用学校評価のお願い」のプリントを配付します。QRコードを読み込んでいただき、記入・送信をよろしくお願いいたします。



相良中 HP へ